

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）に対する支援について（要請）

令和 6 年 7 月

文部科学大臣 盛山 正仁 殿

公益財団法人愛知・名古屋アジア・
アジアパラ競技大会組織委員会
会長・愛知県知事 大村 秀章

公益財団法人愛知・名古屋アジア・
アジアパラ競技大会組織委員会
会長代行・名古屋市長 河村 たかし

アジア・アジアパラ競技大会推進
愛知県議会議員連盟
会長 神野 博史

名古屋市会アジア・アジアパラ競技大会推進
議員連盟
会長 ふじた 和秀

第 20 回アジア競技大会に対する（2026/愛知・名古屋）支援について

アジア 45 か国・地域が参加するアジア競技大会は、オリンピックに比肩する規模を持つ、アジア最大のスポーツの祭典であり、その開催は、アジア諸国との交流を拡大し、国際平和に貢献するとともに、海外の活力を取り込み、我が国経済のさらなる成長・発展につなげていくまたとない好機である。

しかしながら、建設資材や人件費の高騰、歴史的な円安など、一地域では如何ともし難い世界全体の経済金融情勢、社会経済状況の変動により、開催経費には強い上振れの圧力がかかっており、ギリギリの歳出削減の努力をしても、なお経費の増嵩が危惧されている。

愛知・名古屋大会では、大会の質を保ちながら経費の抑制を図り、簡素で合理的、機能的でありつつ、大会の開催意義や理念をしっかりと踏まえた、新たな国際総合スポーツ大会のモデルを示したいと考えている。

その中で、先端技術の活用など様々な工夫によって準備・運営の効率化と生産性の向上を図り、人口減少・高齢化、人手不足等の社会課題の解決にもつながる、持続可能な大会を目指してチャレンジを行っていく。

第 20 回アジア競技大会の開催、成功に向けて、下記の内容について、格段のご支援をお願いします。

記

- 1 第 20 回アジア競技大会の開催を国の主要施策として明確に位置付け、大会の成功に向けてオールジャパンで積極的に推進していくこと。
- 2 厳しい状況にある大会経費のうち、物価の高騰など社会経済状況の変動等による増額分について、国において必要となる支援を行うこと。
- 3 大会の開催意義を積極的に発信して機運醸成を図り、組織委員会や開催都市と協力して、広く民間からの支援の獲得に取り組むこと。
- 4 大規模な国際総合スポーツ大会であるアジア競技大会は、選手団の出入国、輸送・交通、セキュリティ（安全確保）など、大会の準備・運営に係る分野が多岐にわたることから、国をあげた連携・支援体制を構築すること。